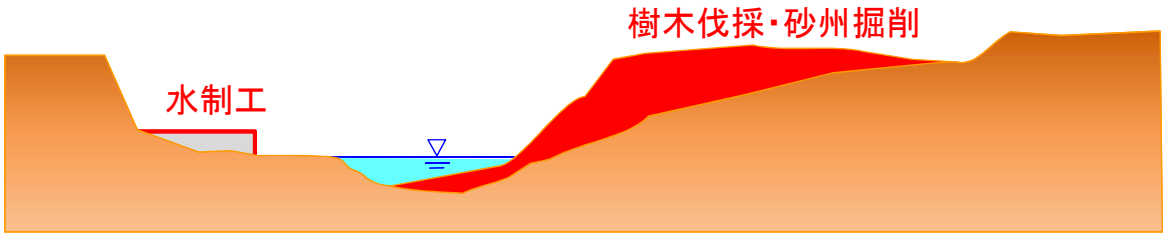
野洲川直轄河川改修事業
【偏流対策】【立入地区】【林地区】（一般検討事業）

●景観形成の目標像
　周辺の自然環境と調和した景観形成とする。

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方
　周辺の自然環境との調和を考慮した上で、掘削面は緩やかな勾配を基本とし、水辺利用に配慮した水際部形状とした。

【林地区】（代表事例）

（施工概要）



左岸側の水衝緩和のため、水制工及び対岸砂州の掘削を実施

事業完了　猪名川自然再生事業

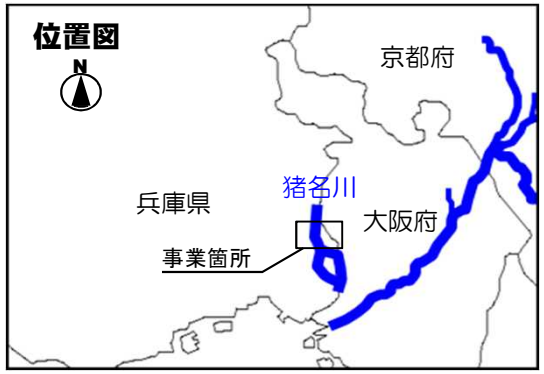
国土交通省
近畿地方整備局

●景観形成の目標像

周辺の河川環境・景観を壊さない水辺空間

＜基本的な考え方＞

・減少しているレキ河原、水陸移行帯など河川環境の復元
・水遊びや釣り等に利用しやすい水辺空間の整備
・冠水頻度を高めて水陸移行帯を維持し、外来植物の侵入を抑制



①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

水際に近づきやすい空間を確保するために、レキ河原を緩勾配とした。
（写真は、レキ河原を整備した箇所で水生生物調査を実施している状況。）

②細部設計、材料等の選定の考え方

猪名川本来の景観を保つため、在来植物のオギを工事後に復旧した。

事業箇所（平面図）

猪名川自然再生事業
　本事業は、猪名川本来の生物相が生息・生育し、生物の再生産が順調に行われることで生物の多様性が維持され、地域の人々が安らぎふれあえる身近な自然に再生し、自然と共生する社会の実現を目指して、かつて猪名川に存在した“多様な生物がすむ身近な”河川環境を回復するものである。

（事業前）

（事業後）

①（桑津橋地区）

②（猪名川大橋地区）

事業完了[様式-4]

円山川直轄河川改修事業【円山川下流 宮代川樋門】（重点検討事業）

国土交通省
近畿地方整備局

●景観形成の目標像

円山川と周辺山並みの雄大な景観を可能な限り保全した周辺景観に馴染む水辺空間

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

上屋の屋根形状は近傍施設との整合を図り、目立たず、周辺民家や自然景観と調和するため切り妻屋根を採用した。

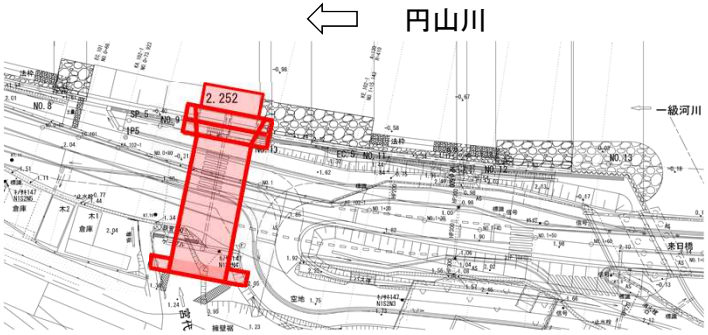
②細部設計、材料等の選定の考え方

操作室外壁の色彩は茶及びベージュを基本とし、周辺景観及び風致景観に調和した色彩を用いる。

③コスト縮減に伴う整備の考え方

上屋の構造は、軽量で下部工の規模を縮減でき、維持管理も容易な鉄骨構造を採用し、イニシャルコスト・ランニングコストの縮減を図る。

事業箇所（平面図）



事業概要：排水樋門新設（1基、ゲート2連）

（事業後）

①

②

（事業前）

事業完了[様式-4]九頭竜川直轄河川改修事業【片粕地区】(一般検討事業)

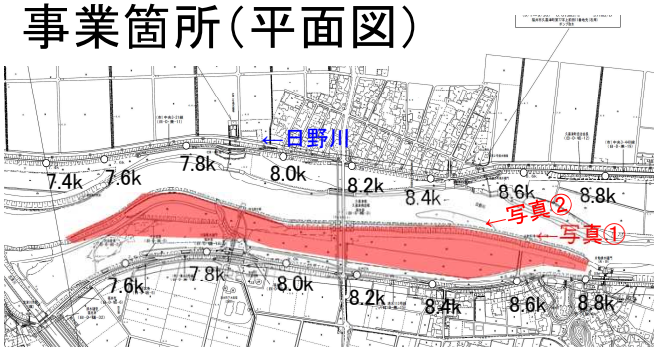
国土交通省
近畿地方整備局

●景観形成の目標像
　河川及び周辺の自然景観と調和した河川空間

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方
　オギ・ヨシ群落の移植することで、周辺環境と調和の取れた景観を早期に復旧する。

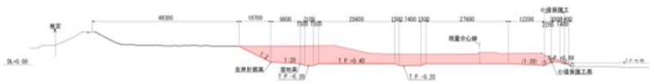
②細部設計、材料等の選定の考え方
　湿地内の水温安定や水生生物の移動を考慮した開放型湿地を造成する。

事業箇所(平面図)



九頭竜川直轄河川改修事業:
「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、当該区間の河道掘削を実施。

(横断図)



オギ・ヨシ群落の移植することで、周辺環境と調和の取れた景観を早期に復旧する

湿地内の水温安定や水生生物の移動を考慮した開放型湿地を造成する

事業完了[様式-4]九頭竜川直轄河川改修事業【中藤新保地区】(一般検討事業)

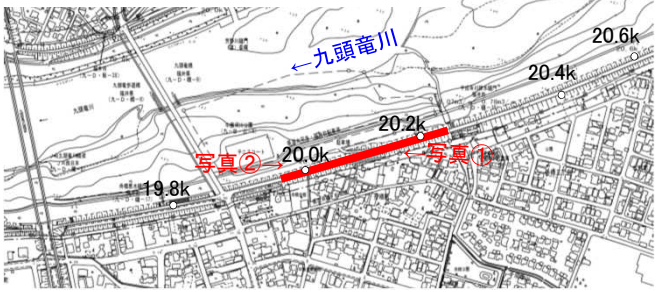
国土交通省
近畿地方整備局

●景観形成の目標像
　河川及び周辺の自然景観と調和した河川空間

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方
　整備による景観への影響を軽減するため、法面は既設の堤防になだらかにすりつけ、植生を行った。

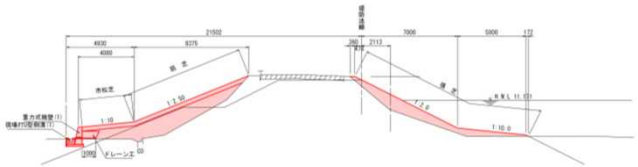
②細部設計、材料等の選定の考え方
　周辺の自然景観と調和させるため、現況の法面と同等勾配とし、なだらかに擦り付ける。

事業箇所(平面図)



九頭竜川直轄河川改修事業:
「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、当該区間の浸透対策(堤防拡幅)を実施。

(横断図)



(事業前)

(事業後)

①

張芝工を実施し、整備による景観への影響を軽減

②

現況の法面と同等勾配とし、周辺の自然景観と調和

●景観形成の目標像

田上山系に対する良好な眺望を享受しながら安心して走れる道路空間

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

法面保護に関しては、田上山系の自然に近づけるため、在来種による法面緑化工法とし、擁壁部も自然石を模した構造を選定する。

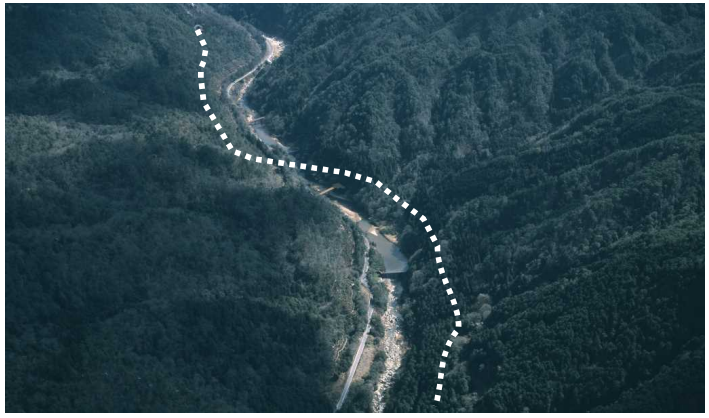
②細部設計、材料等の選定の考え方

山岳部の道路となるため、防護柵によりドライバーにとっての視線誘導を図り、安全な走行を誘導する。

事業箇所(平面図)

大戸川ダム建設事業:
大戸川の洪水調節及び淀川下流への洪水調節を行う天ヶ瀬ダムの強化として実施する洪水調節専用ダムの建設事業

(事業前)



(事業後)

事業完了[様式-4]　高島地区交通安全対策事業(重点検討事業)

国土交通省
近畿地方整備局

●景観形成の目標像

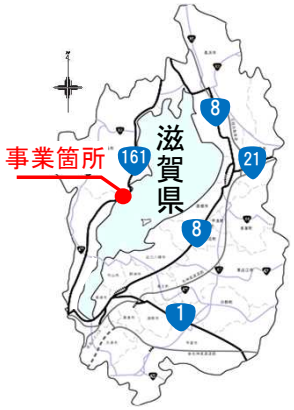
道路と琵琶湖が一体となった開放的な景観を形成するために、防護柵等により視界が遮断する範囲を極力低減するよう配慮する。

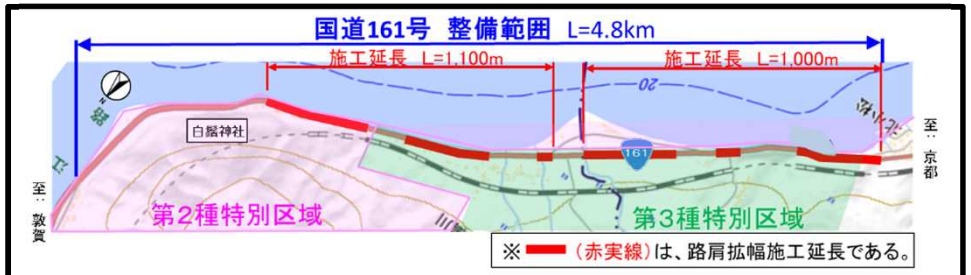
①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

琵琶湖の眺望に配慮し、透過性の高い形状とするため、防護柵や植栽により、視界が遮断する範囲を極力低減し、色彩を全区間で統一できるよう整備を行った。

②細部設計、材料等の選定の考え方

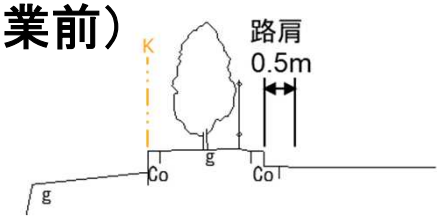
人が間近に眺め触れることが想定されることから、細部のデザインに留意する必要があるため、安全性に配慮した製品を採用し、人との親和性を配慮したデザインとした。



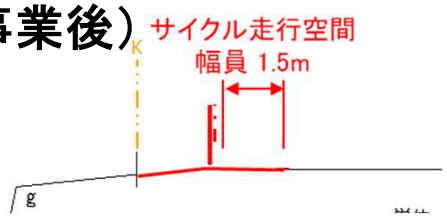


高島地区交通安全対策事業　：　琵琶湖側沿いを走行するビワイチルートの幅員が一部1.5m未満と狭い路肩となっており、自動車との並走時には非常に危険な状態となっているため、路肩拡幅整備を行った。

（事業前）



（事業後）



①

②

事業完了　国道26号幡代北交差点改良事業（一般検討事業）

国土交通省
近畿地方整備局

●景観形成の目標像
“現況の景観を損なわない”ことを念頭とし、周辺の景観と調和した景観形成

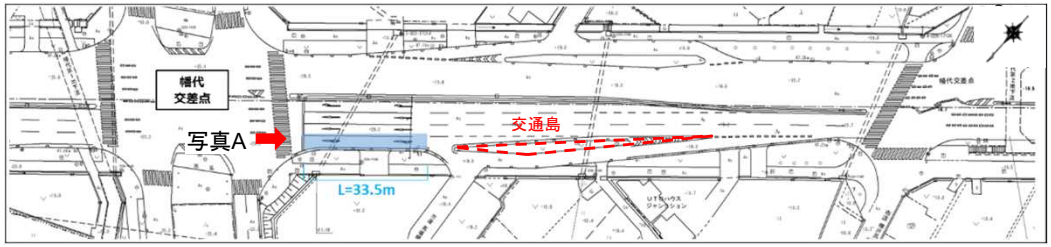
①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

統一感のある連続的な空間を形成するため、前後区間も合わせて舗装工事を実施し、交差点としての統一感を図った。

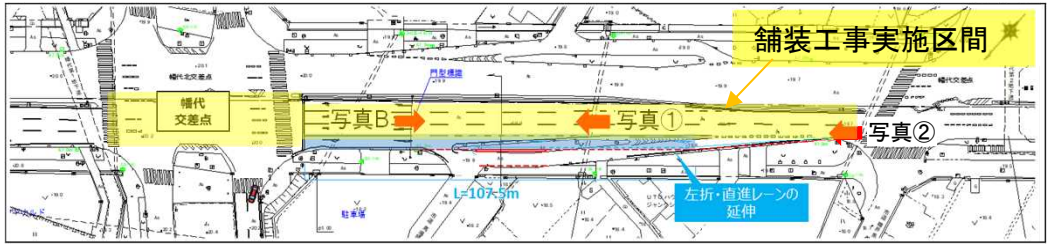
②細部設計、材料等の選定の考え方

渋滞緩和及び道路利用者の見通しを確保するため、側道の一部及び交通島の撤去をすることでレーンの延伸をし、交差点の交通円滑化を図った。

平面図（事業前）



平面図（事業後）



国道26号幡代北交差点改良事業
左直レーンが短いことから、2車線ある直線レーンに左折予定車が溢れ出し、左折待ちの車に衝 突する事故、左折車の渋滞により急な車線変更による衝突事故が多発しているため、左直レーンを延伸し、左折車両の滞留空間を確保するとともに、速度減速対策（路面標示・看板）を行い安全性の確保を図るものである。

（事業前）

A

（事業後）

B

①

②

●景観形成の目標像

沿線の郊外地域に違和感を与えない修景に配慮した道路

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

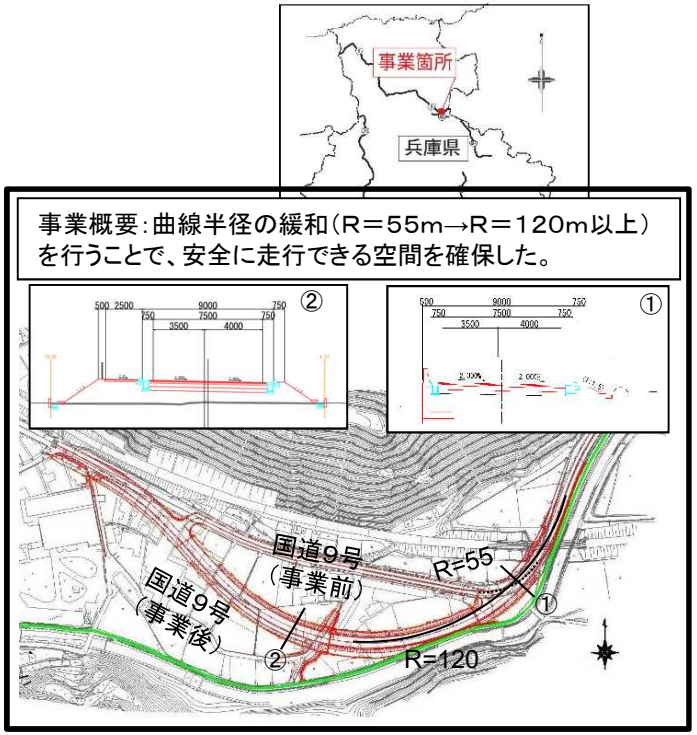
安全な線形に改変しつつも、小規模盛土等による過度な景観の変更を行わないようにするため、既設の車両防護壁を機能復旧した。

②細部設計、材料等の選定の考え方

・道路本体自体は周辺景観を配慮した質素なものとしつつも、安全な走行区間確保するため、盛土構造を基本とし、視線誘導標を適宜配置した。

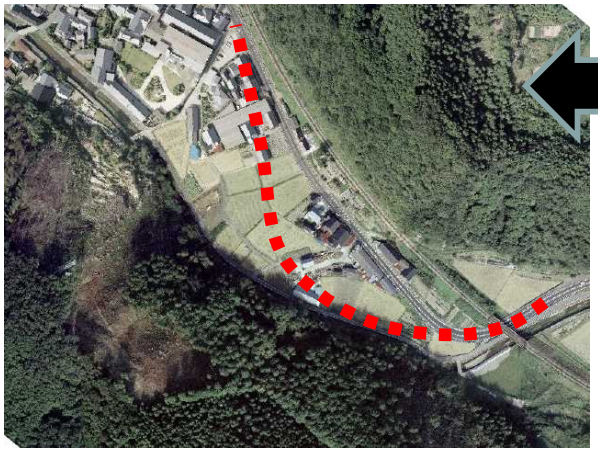
・転落防止柵は周辺景観と融和させるためダークブラウン系とした。

【位置図】



（事業後）

（事業前）



①

②

事業完了[様式-4]　市屋交差点改良事業(一般検討事業)

国土交通省
近畿地方整備局

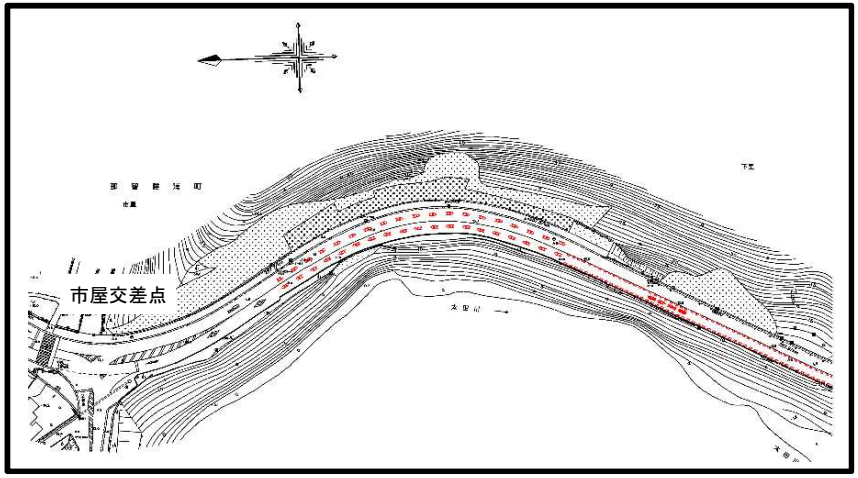
●景観形成の目標像
　周囲の景観との調和

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方
　周辺環境との調和に配慮するため、照明柱を景観色(ダークブラウン)とした。

②細部設計、材料等の選定の考え方
　景観の阻害に配慮するため、透過性のある転落防止柵を採用した。

事業箇所(平面図)

市屋交差点改良事業:
　交差点改良を行う計画であったが串本たいじ道路の市屋(仮称)IC整備計画との事業調整のため、交差点改良は行わず、転落防止柵の設置と減速表示等の路面標示の整備を行った。



①

(事業前)

(事業後)

②

事業完了[様式-4]　田原交差点改良事業(一般検討事業)

国土交通省
近畿地方整備局

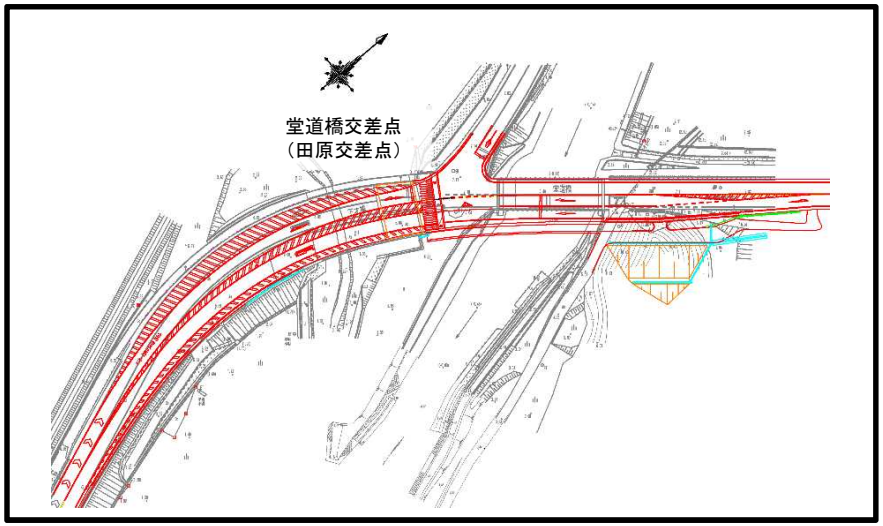
●景観形成の目標像
　周囲の景観との調和を考慮

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方
　周辺環境と調和するため、景観色(ダークブラウン)を採用した。

②細部設計、材料等の選定の考え方
　景観の阻害に配慮するため、透過性の高い高欄を採用した。

事業箇所(平面図)

田原交差点改良事業:
　右折レーンを設置し、交差点改良を図ると共に歩道を整備し、安全な通行空間を確保した。



①

②

(事業前)

(事業後)

事業完了[様式-4]　橋爪地区歩道整備事業(一般検討事業)

国土交通省
近畿地方整備局

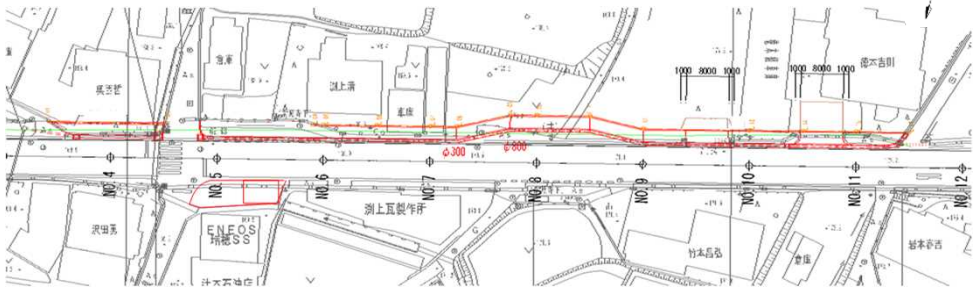
●景観形成の目標像
　自然的な景観特性を有する地域に調和した道路空間の形成

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方
　周辺の良好な自然景観と調和のとれた道路空間とするため、景観に配慮した色彩(ダークブラウン)を採用した。

②細部設計、材料等の選定の考え方
　人との親和性に配慮したデザインでの整備を行うため、ボルト・ナット類の突起を抑制した防護柵を採用した。

【位置図】

事業箇所(平面図)



橋爪地区歩道整備事業:
瑞穂小学校の通学路(交安法第3条指定)において、既設歩道の拡幅による歩道整備を行った。

(事業前)

(事業後)

①

②

事業完了［様式-4］ 国道9号　養父市八鹿町高柳岸ノ下地区歩道整備事業（一般検討事業）

国土交通省
近畿地方整備局

●景観形成の目標像

周辺利用状況につながりに配慮した安全で安心な歩行空間の確保

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

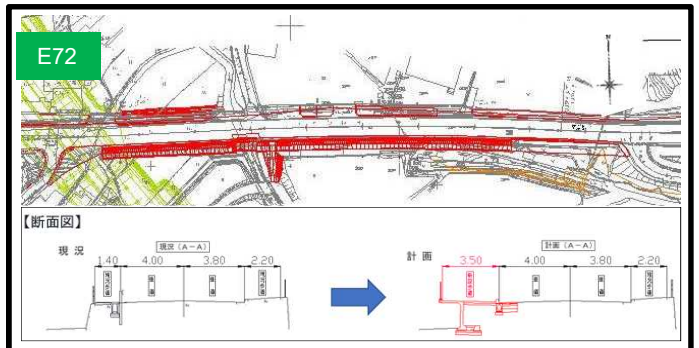
周辺施設等からの利便性および車両交通の安全の向上を図るため、歩道拡幅により歩行空間を創出した。

②細部設計、材料等の選定の考え方

・前後区間および対面の整備済み歩道との景観の連続性に配慮するため、乗り入れ部の車両防護柵を含めた景観対策とした。

・転落防止柵は周辺景観と融和させるためダークブラウン系とした。

【位置図】



岸ノ下歩道整備事業：学生の通学利用等の日常における安全で安心な歩行空間の確保するため、歩道拡幅を実施した。

（事業後）

（事業前）

①

②

事業完了[様式-4]　国道29号五十波地区歩道整備事業(一般検討事業)

国土交通省
近畿地方整備局

●景観形成の目標像

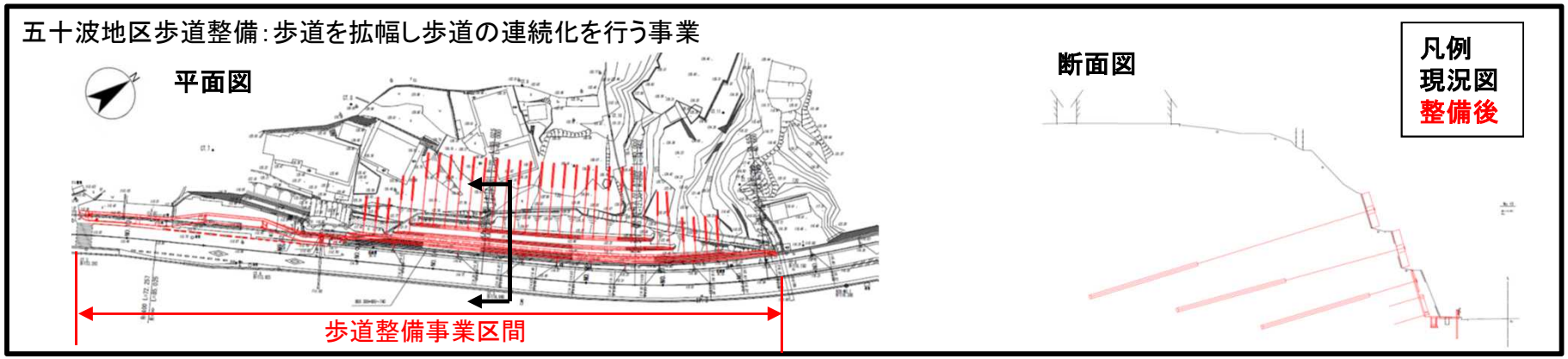
五十波地区歩道整備は、山間平野ゾーン(田園・集落地)を通る道路で、周辺の景観を考慮した歩道整備をおこなう。

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

法面工は、費用対効果を考慮し可能な限り周辺の景観に配慮するため、一般的な形状とした。

②細部設計、材料等の選定の考え方

転落防止柵の色彩は、周辺の景観と調和させるため、景観色であるグレーベージュ(薄灰茶色)を選定した。



(事業後)

(事業前)

①

②